2007 年 7 月 20 日

まつもと市民環境大学　報道発表資料

私たち　まつもと市民環境大学は，2007 年 4 月に発足し，　C.W.ニコル氏をお迎えし，記念講演会を 5 月 20 日に行い，大変盛況に終えることができました。

今回，まつもと市民環境大学として，どのようなことを行っていくか，具体的な内容，時期が決まりましたので，ご報告申し上げます。

講座の開催時期について

本年 9 月より来年 2 月末までを予定しております。（詳しくは別表をご覧ください）

講座は，大きく分けて，フィールドワーク　と　講演　の 2 つから成ります。

講座の内容について

１．フィールドワーク：

- 「自然と人との関わり」:
  上高地一泊し，上高地の自然環境の現状を体験するとともに，専門家から説明をしてもらい，自然と人との共存を探る。
- 「自然と共存できる“まち”づくり」:
  松本市の中心地に近い庄内地区では，区画整理が進み，住宅地へと開発されてきている。同じ庄内地区でも里山があり，自然と共存してきたが，近年では，里山の荒廃，野生動物の人への被害が増えている。この現状を踏まえ，自然や人そして地球に優しい都市づくりを考えていく。

２．講演

- 「我が家の省エネ・創エネ」:
  省エネは，今や社会的課題よりも，家庭で「何ができるか，どうすればできるか」という課題になってきている。同時に，創エネ，つまり，私たち自らが創るエネルギーも話題になってきている。私たちに最もかかわるエネルギーとの関わり方について，講師との討論を通して学んでいく。
- セミナー「環境アセスメントってなあに？」:
  環境アセスメントという言葉が最近よく耳にする。しかし，その実際を理解している人はどのくらいいるのだろうか。その現状とこれからを県の担当者（あるいは，環境影響評価技術委員会の委員）から話を聞く。
- 「車中心の社会を見直す」:
  環境に対する意識の高いヨーロッパでは，カーフリーデー（車を使わない日）が広く浸透している。一方，日本では，カーフリーに対する動きはあ

っても，なかなか浸透していかない。車中心の社会にある私たちのすべきこと，温暖化，CO_2　の問題 を中心に講演を行う。

- 「水から考える環境税」:
  普段，私たちが何気なく使っている水は，多くの費用をかけられて作られた「水」である。このことを再度認識してもらい，最近聞かれるようになった環境税とは何かを，「水」に関連させて講演を行う。

上記の詳細内容については，下記のホームページにて告知するほか，募集要項を配る予定です。

事務局
〒390-8621　松本市旭 3-1-1
信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座内
まつもと市民環境大学 事務局
電話: 0263-37-2622　Fax:0263-37-3499
E-mail: matsumoto-kankyo@mbr.nifty.com
ホームページ　松本市環境カレンダー　まつもと市民環境大学
http://dept.md.shinshu-u.ac.jp/pmph/matsumoto-eco/